ミニコミ　【カラー版】

火の川

第288号

2020. 7. 12

【編集発行】熊日宮原販売センター
八代郡氷川町栫16－3
TEL　0965-62-3868　Fax62－2867
E-mail　kuma-miya@rainbow.plala.or.jp

1学期の復習に、高校入試に強い味方

熊日中1・2・3クラブ+進学ナビをオススメ！

★中1・2・3クラブ

熊日では、中1・2クラブを年3回発行し、熊日購読の有無に関わらず無料で配布しております。科目は数学、英語、国語の3教科で、各学期の復習に最適です♪

また中3クラブは毎月発行で、令和2年度の私立高校の入試問題、令和3年度の県立高校の入試予想問題のほか、進学のアドバイスなど盛りだくさん。こちらは、熊日購読の方のみの配布です。

★進学ナビ

毎年7月上旬に発行される進学ナビは、県内全高校の紹介に加え、各学校の制服や名物先生、さらに塾なども紹介されています。高校選定に大いに役立つ1冊で、こちらは7月に配布（熊日購読者）となります。

◆申込みとお届け

ご希望の方は、熊日宮原販売センター（62-3868）へお申込み下さい。弊店に冊子が到着後、弊店より各ご家庭へお届けいたします。

交流・体験を推進する坂より上地区

氷川流域の里山を守る③

2016地域づくりインターンによる坂より上地区の地域資源調査（写真左）、および同地区での調査報告会（写真上）

高齢化に伴い、中山間地の環境も荒廃しつつある中、里山の保全活動に取り組む住民組織の活動を3回シリーズで紹介する。

最終回は、6年目を迎えた東陽地域山村活性化事業に取り組む河俣の「坂より上」地区。

東陽町では2015年より**「東陽地域山村活性化事業」**に着手し、6年目を迎えている。その中で、坂より上地区はヤマメの養殖のほか、ブルーベリーや葉ワサビの栽培などに積極的に取り組んでいる。

一方、弊店では2016年の地域づくりインターンによる同地区の地域資源調査を2日間実施。地区内における宿泊機能と体験プログラムの充実により、地区の財源確保を提案した。

同地区では20mの常設そうめん流しや囲炉裏のほか川遊びが人気で、

【東陽地域山村活性化事業（2015～）】

地域振興を目的に、組織づくりや地域住民を対象とした研修会を行い計画を策定。山の恵みを経済的ゆとりに活かすため、**きのこ栽培加工部会、やまめ養殖部会、イノシカクラフト部会など**6つの専門部会を設立された。

【坂より上地区】

東陽町南の交差点より五木村方面へ約10kmの位置にある。八代営林署河俣事業所があった昭和50年頃は60戸あり、河俣小学校坂より上分校（1885年創立）では1～4年生が学び、5～6年生は5km離れた本校で学んでいた。

同分校は平成22年3月に廃校となり、現在は17戸40人が暮らしている。

デイ・キャンプも受入れていたが、その後、公民館にエアコンや畳を設置。さらに、寝袋とテントも購入し、3年以内に屋外トイレと温水シャワーを整備する予定である。

◆次世代へ引き継ぎたい

同地区の橋永高徳さんは、「賛助会員を募集しつつ、次世代へ負債無しで引き継ぐために事業を軌道に乗せたい」と話している。

施設利用および体験・交流プログラムの問合せは、橋永高徳さん（090-6222-2704）へ。

6種類のブルーベリーを栽培する橋永さん

【体験・交流プログラム】

4月	しいたけコマ打ち	
5月	山菜採り	
6月	ブルーベリー収穫（7月まで）	
7月	川遊び そうめん流し（8月まで）	
8月	栗拾い（9月まで）	
11月	山のレストラン	
その他	ヤマメのつかみ取りや塩焼き、映画の上映なども可。	

八代の石文化、日本遺産に登録

「八代を創造（たがや）した石工たちの軌跡～石工の郷に息づく石造りのレガシー～」と銘打ち、八代市が登録申請していた八代の石文化が、日本遺産に認定され、6月19日、文化庁から発表された。

日本遺産とは、その地域に在る有形・無形の文化財などを活かし、地域の魅力を国内外に分り易く伝えるストーリーを認定するもの。　全国の認定数は104件で、今回の八代市の認定は県内で3件目となる。

今回認定を受けたストーリーの構成文化財には、笠松橋・鹿路橋などのめがね橋、若宮神社・菅原神社のひねり灯籠、美生地区の棚田景観など、東陽町のものが多数含まれている。

発表当日には、石匠館に多くの関係者や報道陣が集まり、「石工の郷」の魅力が改めて評価されたことに喜びの声が上がった。

受賞を喜ぶ関関係者（石匠館）

【写真提供：東陽支所さま】

情報収集に強い味方

～泉町にバイク隊発足～

6月20日、泉支所において、八代市消防団泉方面隊バイク隊の発足式が行われた。バイク隊は、車では近づけない山間部の災害現場や孤立世帯の情報収集などを行う。

泉町は急傾斜地が多く、土砂崩れによる道路寸断などがたびたび発生。その際の状況把握に時間がかかっていたことから、未舗装の狭い道でも走れる250ccのオフロードバイクを2台導入した。

同市内の消防団では、初めてのバイク隊で、今後は八代消防本部の赤バイ隊などと合同訓練を重ね、地域の安全を守る。

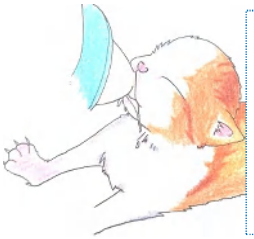
泉方面バイク隊の発足式

【写真提供：泉i支所さま】

◆小さな命の写真展

「地域猫」をご存知ですか？避妊・去勢手術の大切さ、人と猫が幸せに暮らす方法を考えるきっかけに♪

・期日：7月21日（火）～8月9日（日）
・時間：10時～17時　※最終日は15時
・場所：まちつくり酒屋（53-5550）
　　※月曜、祝日は閉館
・内容：写真パネル23枚の展示



写真展の詳細は、なかじま動物病院（520-4467）まで

相続登記、法人登記、訴訟業務、成年後見業務など、お気軽にご相談ください。

川口司法書士事務所
司法書士
川口邦則（熊本県司法書士会会員）

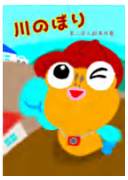
住所　氷川町今187番地2
電話　0965－62－1770
メール　k.kawaguchi.gnn@pearl.ocn.ne.jp

ひかわ整骨院・熊本巻爪センター
おかげさまで7周年　感謝申し上げます。
当院は『3密回避のため』完全予約制です。
マスクの着用をお願い申し上げます。
痛みがあっても無くてもご来院ください。

https://www.bbhikawa.com/makidume.html
皆様を足元、指先から元気に導きます！

ファーストペンギンになる⑯

川のぼり＆俳画にチャレンジ@人財育成塾



氷川町早尾の小河川で、サワガニを捕まえたり植物を観察しながら川のぼり

6月20日から1泊2日の日程で、第2回人財育成塾を開催した。当初はゴールデンウイークに予定していたが、コロナの影響で7月の開催となった。
スリル満点の川のぼりに、参加した5人の小学生は大はしゃぎ！俳画プログラムにも熱心に取り組み、報告会では保護者の微笑みが印象的だった。

今回の人財育成塾は雨で氷川が増水していたため、前日にプログラムを変更。宮原サービスエリアの上流の早尾の小河川の、川のぼりを行った。奥に進むにつれて険しくなり、怖がっていた子もいたが、終わってからは楽しかった！と言ってくれて安心した。

初めての俳画は、印象的だった場所を色紙に描き、色紙を交換して絵にふさわしい句を詠んだ後にまた交換した。出来上がった色紙はどれも上手でそれぞれの個性があり、見ていて楽しかった。

最後の感想発表では、みんなが「楽しかった」「また参加したい」と言ってくれてうれしかったし、次回のためにまた別の新しいプログラムを考えてたい。

今回は1回目の課題を踏まえて行ったので、かなりスムーズに進められたと思う。

また、1期生のスタッフが足りなかったため、副社長の稲本（中2）に応援してもらったが、小学生目線でサポートしてくて助かった。1期生だけでは難しい所や、食事の準備など新たな課題も見つかった。社内の人財育成を進めるためにも、今後は後輩たちとも協力しながら進めていきたい。

【熊本高専3年：竹山実李】

★おもなプログラム

【20日（土）】
・午後：オリエンテーション、サワガニ探し、川のぼり、おやつ、ふりかえり
・夜：入浴（温泉）、夕食（カレー）、俳画作り、おやつ、映画鑑賞、就寝
【21日（日）】
・午前：朝食（パン、ハムエッグ、スープ）、川のぼりまとめ、発表の練習、感想まとめ
・11時30分：保護者報告会、昼食会（そうめん、手巻き寿司、赤飯、デザート）

いつの間にか水かけ合戦、勃発！

色紙に絵を画き、交換して一句詠む

もっと楽しくなる川遊びを保護者へ発表

まずは、試してやってみよう♪～(株)ぎろの部活動スタート～

5月下旬から検討を始めた(株)ぎろの部活動。四苦八苦しつつ部ごとに目的や開催日時、運営方法や課題などを企画書にまとめるも、内容不十分。

その後、6月27日にメンバーからの提案を受けて修正し、7月4日に再度説明。ん～、まずは1回やってみよう！ということで、7月に実施することに。手応えがあれば、8月から部員募集♪

各部の企画書を検討するメンバー

ZOOMソフトでスピーチを録画中

日本に戻り就職活動中

【人生のまくら話⑭～鈴嶋克太】

「IT」は理系の仕事？

～就活を通して考えたこと～

今回の就職活動では、IT業界も勉強してみた。というのも、「IT無くして課題解決無し」と言っても過言ではない昨今、あらゆる業界、公的サービスにIT推進の波が来ている。

私は、「自然エネルギー」や「低炭素社会」などに関心があるのだが、これらにもIT技術は当然のように関わっている。

◆「IT=理系=プログラミング」ではない

「ITの仕事」と言っても、パソコンに向かって数式を打ち込むような、いわゆる「プログラミング」だけではない。実際は、「ITを『活用』して解決策を提供する」と言ったタイプのIT企業もあり、「ビジネスや社会の課題を分析し、ITを『活用』して解決する能力」の方が重視される場合が多い。

AIの発展が今後更に進めば、人間の役割は、「プログラミングを『する』」でなく、「ある問題解決のために、AIにプログラミングを『させる』」方に移っていく。

◆IT活用のために、IT以外を勉強する必要性

最近の世の流れは「プログラミング教育の必修化」だが、私は「勉強したいことを何でも勉強する」という視点も大事だと思う。たとえプログラミングと関係が無くても、だ。そうでなければ、

「ITを使って『何を』したいか？」の部分が、見えてこないと思う。

アップルを創業したスティーブ・ジョブズも、大学では「カリグラフィ」という美術の授業にのめり込んでいた。勿論、必修授業ではない。しかし、その授業で養った文字に対する美意識が、後のアップルのスタイリッシュで画期的な製品に繋がったのだ。

◆「点と点が繋がる」のが、理想の仕事

私も、これまでの学生生活、その時々の関心に応じて、色んな勉強をした。その過程で、自らの「解決すべき社会課題」を明確にできた。その上で、「ITは課題解決の手段のひとつである」、ということだ。

ある時、スティーブ・ジョブズは、「点と点を繋ぐこと」の重要性を語った。「その時々で関心があることに熱中していけば、後々全ての経験が繋がって役に立つ」ということである。その言葉の意味を、しみじみ感じ入りながら、就活の日々を送っている。

社長ら遠隔授業にデビュー♪

龍谷大学の政策学で語る

6月20日、㈱ぎろの竹山社長と堀川広報部長が、龍谷大学政策学部の「政策学を学ぶA」の遠隔授業のため、収録を行った。

当初は岩本が同大学で講義を行う予定だったが、コロナの影響で遠隔授業に変更。これに伴い、2人も会社設立や事業について15分のスピーチを行った。ぶっつけ本番ながら、まずまずの出来だった！？

いわっちょの面白写真

～吊るし（レンズ）雲～

6月に長野県で発生した吊るし雲（写真上）。高い山の風下に現れ、出現すると場所がほとんど動かず、吊されているように見えるのが名前の由来。天気が崩れる前触れとも言われているようです。写真下は、富士山♪

◆AO入試塾を準備中（＝教授らと連携）

大学における「総合型選抜（旧・AO入試）」は、進学先に対する意欲や目的意識、将来の可能性などを評価する趣旨の試験。現在、私立大学の82％、国公立大学の70％で導入され、難関大学合格の可能性が期待出来ます。

現在、高校教諭や全国の大学教授へ協力を打診中で、10月から週1回の塾をスタート。半年間は無料で、対象はパソコンによる遠隔授業が可能な中高生5人。（岩本）

売地・売家を募集しています。
価格査定は、無料です。
氷川町宮原566－2
アシスト氷川　代表　江嵜 悟
TEL　090-9797-2312

貸家（新村）	売地（鹿島）
3DK	91坪（宅地）
4万円／月	550万円
宮原小・氷川中校区・上下水道・有佐駅徒歩10分	竜北西部小・竜北中校区・上下水道可・有佐駅車10分